

# 木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(19年6月分)

1. 調査実施期間 平成19年 5月20日 ～6月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

6月分の回答企業数は34社、回収率は59.6%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		19/6月	7月	8月
仕入動向	国産材	△ 14.8	△ 13.0	△ 17.3
	外材	△ 12.5	△ 18.8	△ 21.0
販売動向	国産材	△ 17.9	△ 8.9	△ 22.2
	外材	△ 11.3	△ 4.8	△ 20.0
在庫動向	国産材	△ 10.7	△ 10.7	△ 7.4
	外材	△ 11.7	△ 11.7	△ 5.2

仕入は、国産材、外材とも6～8月マイナス幅をやや大きくし、弱気配強めている。販売は、国産材、外材とも7月マイナスをやや縮め明るさ感じられたが、8月は夏休み等時期的なことか、荷動き状況悪い。在庫は、国産材、外材ともマイナス幅をやや縮め、ほぼ横ばいの推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	19/6月	7月	8月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	2.3	6.8	4.8
ヒノキ正角	0.0	2.2	0.0
ヒノキ土台角	△ 2.2	2.2	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	0.0	△ 2.8
米ツガ防腐土台角	0.0	2.5	2.6
米ツガ割物(現地挽)	10.5	0.0	0.0
米マツ平角	0.0	0.0	△ 2.6
北洋アカマツタルキ(現地挽)	0.0	2.6	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 7.1	△ 7.1	△ 2.5
レッドウッド集成平角	11.1	2.8	0.0
型枠合板(国産)	△ 17.6	△ 11.8	△ 9.4
型枠合板(輸入)	△ 27.8	△ 8.3	△ 8.8
針葉樹合板	△ 5.6	0.0	0.0

スギ正角(グリーン、KD)はプラス基調に変わりない。ヒノキ正角、土台はゼロ前後で若干上下するが堅調である。米ツガ正角はやや弱含み。割物はプラスから一気にゼロと好調も陰り模様。なお、防腐土台角はプラスへ好転し明るさ出ている。米マツ平角はゼロ、小マイナスで安定している。北洋アカマツタルキはプラス基調だが一時の勢いない。WW集成管柱ここ数年ないマイナスで、強気配喪失した影響か。RW集成平角ゼロと不動の強さ揺らぐ様相。合板(針葉樹合)はゼロ、マイナス基調で一時の勢い全く見られない。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

2007年6月19日発行

1. 荷動き

単位:%

品目		19/6月	7月	8月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	11.1	7.4	3.8
		横ばい	51.9	63.0	65.4
		やや減少	33.3	25.9	23.1
		減少	3.7	3.7	7.7
	外材	増加	3.1	0.0	0.0
		やや増加	12.5	6.3	3.2
		横ばい	46.9	56.3	61.3
		やや減少	31.3	31.3	25.8
		減少	6.3	6.3	9.7
販売動向	国産材	増加	0.0	3.6	0.0
		やや増加	10.7	10.7	3.7
		横ばい	50.0	53.6	63.0
		やや減少	32.1	28.6	18.5
		減少	7.1	3.6	14.8
	外材	増加	0.0	3.2	0.0
		やや増加	22.6	12.9	6.7
		横ばい	38.7	61.3	60.0
		やや減少	32.3	16.1	20.0
		減少	6.5	6.5	13.3
在庫動向	国産材	増加	3.6	0.0	0.0
		やや増加	7.1	10.7	7.4
		横ばい	57.1	64.3	74.1
		やや減少	28.6	17.9	14.8
		減少	3.6	7.1	3.7
	外材	増加	3.3	3.3	3.4
		やや増加	3.3	0.0	0.0
		横ばい	66.7	76.7	82.8
		やや減少	20.0	10.0	10.3
		減少	6.7	10.0	3.4

2. 価格動向

品目		19/6月	7月	8月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.3	4.3	4.5
	横ばい	91.3	91.3	90.9
	やや下落	4.3	4.3	4.5
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.5	13.6	9.5
	横ばい	95.5	86.4	90.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	4.3	4.5
	横ばい	100.0	95.7	90.9
	やや下落	0.0	0.0	4.5
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	4.3	4.5
	横ばい	95.7	95.7	90.9
	やや下落	4.3	0.0	4.5
	下落	0.0	0.0	0.0

品目		19/6月	7月	8月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.6	0.0	0.0
	横ばい	88.9	100.0	94.4
	やや下落	5.6	0.0	5.6
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.0	5.0	5.3
	横ばい	90.0	95.0	94.7
	やや下落	5.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	21.1	0.0	5.3
	横ばい	78.9	100.0	89.5
	やや下落	0.0	0.0	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.0	0.0	0.0
	横ばい	90.0	100.0	94.7
	やや下落	5.0	0.0	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	10.5	5.3	0.0
	横ばい	78.9	94.7	100.0
	やや下落	10.5	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	14.3	0.0	0.0
	横ばい	57.1	85.7	95.0
	やや下落	28.6	14.3	5.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	22.2	5.6	0.0
	横ばい	77.8	94.4	100.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	64.7	76.5	81.3
	やや下落	35.3	23.5	18.8
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	5.6	0.0
	横ばい	44.4	72.2	82.4
	やや下落	55.6	22.2	17.6
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	11.1	11.1	17.6
	横ばい	66.7	77.8	64.7
	やや下落	22.2	11.1	17.6
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ丸太市況が非常に厳しい。値上げが通らない製材品マーケットの影響から丸太消費量は月を追って減少し、少量の入荷量でも荷もたれ感が出始めた。(東京:問屋)
- 産地国通貨の上昇、円安為替で仕入れコストは上昇し続けているが、販売の方は未だに安値品が流通しており先行き心配。(東京:問屋)
- 売れず買えず惨憺たる状況である。たまに引合いが来ても細かく且つ値引き要求が強く、前途多難である。(東京:問屋)
- 荷動き最悪。お客は在庫がないので商いは細かい。送り状の枚数は多い。(東京:問屋)
- 価格的には天井感が出てきました。秋まで無風状態と思われれます。(東京:問屋)
- 昨今の木材の価格は国内の動きに関係なく、世界経済の動きで上昇している。その反面、地元の建築業界は大幅に萎縮している。いよいよ弊社でも小店ながらその存続か否かの岐路に立たされている。(東京:仲買小売)
- 仕事の中味が店舗やマンションリフォームになり、木材の使用量がますます減っています。(東京:仲買小売)
- 荷動き悪く、強気だったアカマツタルキ、針葉樹合板も調整局面。一時的な需要減退ではないことや、これからのコスト増を考えるとどの辺で落ち着くのか判断しかねるところ。(東京:仲買小売)
- 思った程荷動きが良くない。一回の配達もボリュームがない。4月以降、建売・マンション共前年より着工数が減ったと思う。(東京:仲買小売)
- 今年は長い夏休みになりそうです。(東京:仲買小売)
- ラーチ合板、ラワン合板の単価の先行きが読めません。(東京:仲買小売)
- 今年1月より低迷気味だったが、6月に入り荷動きが更に厳しくなってきた。当分の間続くとみられる。(東海:仲買小売)
- 相変わらず荷動き悪く、この先良くなる要素も見られないまま梅雨を迎える。唯一の気休めは郊外に新築される大型の在来工法。(東海:仲買小売)